学校教育目標 「心は一つ八景小！ 自分らしさを発揮し、認め合い、思い合い豊かに生きることができるようにします」

11月 学校だより

令和5年10月31日
横浜市立八景小学校
校 長 中川 琴似

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hakkei/

みんなの「気持ち」を大切に

通級コーディネーター　川上　賢祐

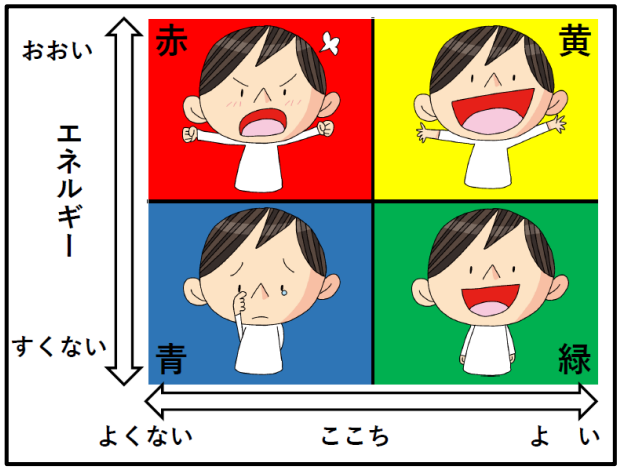
八景小学校の正門を入りすぐ右手にある建物は、「八景小学校通級指導教室」です。1階は「まなびの支援教室」、2 階は「きこえとことばの教室」となっています。通級指導教室は、一般学級に在籍する子どもたちが個々に抱える問題や課題を主体的に改善・克服することを目的としています。八景小学校の子どもだけでなく近隣の小学校から180名程度の子どもたちが、保護者と一緒に定期的に通ってきています。そして、通級を利用する子どもたちが普段の学校生活を安心して過ごせるよう、また将来の自立に向けて必要なことを学んでいけるよう、本人・保護者・在籍校と通級の教職員が連携しながら指導・支援を行っています。

通級の教職員が、八景小学校の子どもたちと通級指導教室の建物内でかかわるものが 2 つあります。一つはきこえとことばの教室での聴力検査です。これは、1・2・3・5年生と 4 組の子どもたちに対して学年、学級ごとに 4 月下旬に行っています。ただ、聴力検査をしているだけでなく、検査の前にきこえとことばの教室がどんな場所かを説明しています。

その内容は、次に書かれているものになります。

- きこえの教室では、耳がきこえにくいお友だちが、補聴器や人工内耳を使って、音をききとる学習などをしています。
- ことばの教室では、話をするときに「たいこ→かいこ」、「さかな→ちゃかな」などになるお友だちが発音の練習をしています。それから、「あ、あ、あ、あのさ」とか「あーのさ」とか「・・・あのさ」など最初のことばがなかなか出ないお友だちが、ことばのことを相談しにきています。

もう一つは、まなびの支援教室での 3 年生向けの人権学習です。その人権学習のめあては、「考えよう！自分の気持ち。知ろう！友だちの気持ち。」です。「ムードメーター」という気持ちを色で表現する教材を使い、様々な場面でどんな気持ちを感じるかをグループで発表しあいます。体験を通して「自分自身が、その時々でいろいろな気持ちになる。」「同じ場面でも、人によって感じ方が違う。」ということを、学んでほしいと思っています。

毎年、体験した子どもからは、「自分の思いをみんなに聞いてもらえてよかった。」「いろいろな感じ方があることがわかった。」などの感想を聞かせてもらっています。まなびの支援教室では、「大切な人とつながりながら、自分らしく生きる。」ことを大きな目標としています。別の言い方をすると「自分も相手も◎」な生活を送れるようになればと思っています。

現在 4 年生以上の子どもたちは、この学習をした経験があります。何かの折に「今、どんな色の気持ちだったの。」「私は、今〇色な気持ちだな。」など、ご家庭でも話題に出していただけると、「気持ち」の大切さを思い出すきっかけになるのではないかと思います。